

おはようございます。
長崎大学人、河野茂です。

私は、Macintosh ユーザーで、スマートフォンは、iPhone です。
皆さんもご存じのように、iPhone の値段は年々上昇しています。
9月に発売された「iPhone14 Pro」の日本での最低価格（税込み）は14万9800円だそうです。びっくりですね。
前機種「iPhone13 Pro」の発表時から2万円以上も上昇しています。
これには、製造コスト高、輸送費高、人件費高などがあるようですが、円安の影響も大きいようです（2022年9月22日日経新聞）。

私は、経済の専門家ではありませんが、価格がどうやって決まるのかは興味があります。
それは、おそらく、子供の頃の体験によるものでしょう。私の家は、母親が薬局をやっていました。
女手一つで3人の子供を育てていたわけで、私はよく集金に行かされていました。
寒い中、集金袋を持って町の中を歩くのはつらかったですね。それに、なかなか払ってくれない人も多かった(笑)。
でも、今となってはとてもいい経験でした。思っていたのは、なぜ、薬により値段が全然違うのか？ということ。
いつも子供ながらに考えていました。
効果がある薬が高いのか？ だったら安い薬は効かないのか？ いろんな思いが湧いてきたのを覚えています。

さて、学長になってからも、価格に悩むことが多いのは事実です。
大学の学費（入学金、授業料）は、文科省が「標準額」を決めています。
ほぼ全国一律ですが、20%を上限に独自の値段を設定することができます。
当大学は、もちろん標準額です。
しかしながら、今後は、全国で価格の変動がでてくるでしょう。
自分の大学が、標準価格以上の価値があり、受験生という需要があれば上げることも可能で、東京工業大学は標準価格より10万円の値上げを行っています。
当大学が値上げをする予定はまったくありませんが、入学金282,000円、年額535,800円の授業料に見合った価値を学生へ提供しなければなりません。
それは、私をはじめとする教職員全員の義務だと感じています。
私自身は、当大学は、標準価格以上の価値を学生へ提供していると自信がありますが、それを数値化して示すことは、なかなか困難と思います。

教育の価格をどう設定するかという問題は、議論の多いところですが。
学生A君が4年間で得た知識や技術や態度が、A君の年収の何パーセントにあたるかという計算ができそうですが…。
学生Bさんの4年間で出会った友達や恩師の数と学費の相関をどう計算するのか…。

この分野に詳しい人は、ぜひ、教えてください。

しかしながら、教育は特別だから、価格は無視、というわけにもいきません。資本主義経済の中で生きている我々は、教育も社会の構成要素です。我々の仕事も同じです。

みなさんの部署では、いくら人件費がかかり、いくらコストがかかっているかは、ぜひ、知る必要があると思います。

部署のリーダーの方は、それをぜひ、大雑把に計算してみてください。そして、考えてください。その費用に見合った仕事をしているかどうかを。

世間から国立大学は、多くの税金を使い、その価格（投資額）に見合ったことをしているのか？ 何をやっているか？という批判もあることを、我々は自覚しなければなりません。長崎大学には、年間約 200 億円の国の投資が行われています。これに見合った仕事をしなければなりません。

長崎大学の＜価値、価格＞の問題は、公認会計士・税理士の視点から波多順子監事をお願いします。

皆さんの＜価格＞に関するコメントを何でもかまいませんので、気軽にメールしてください。